



今月新しく入りました。

※ 10月の新刊は、2日(月)からの貸出となります。

一般の本

- ・ボクたちはみんな大人になれなかった(作=燃え殻)
- ・水底は京の朝(作=岩下悠子)
- ・明治・妖モダン(作=畠中 恵)
- ・やせる!健康になる!魔法のスムージー&スープ(榎出版社)

子どもの本

- ・あたりかも(作=きたじま こうき)
- ・神隠しの教室(作=山本悦子)
- ・ちょっぴりおかしなどうぶつえん(作=アリソン・ジェイ)
- ・バステいよいよ(作=重松彌佐)

図書室からのお知らせ

こどものとしよしつ 臨時休館のお知らせ

10月13日(金)、14日(土)は公民館まつりのため、「こどものとしよしつ」を臨時休館とさせていただきます。

図書室 読書まつり



楽しいお話聞けるよ

こどものとしよしつで、読書まつりを行います。この日は絵本の読み聞かせのほか、ピンゴ大会なども予定しています。ぜひ遊びに来てください。

- とき 10月22日(日)午前10時から正午まで
- ところ 中央公民館1階「こどものとしよしつ」



もぎりよ
今夜も有難う
作=片桐はいり

み ずからの出自を問われたら、「映画館の出身です!」と胸張って答えたいと、かたくなに思っている俳優・片桐はいりさんのエッセイ集です。大学時代から映画館でアルバイト。まだ映画館が入れ替えないで見られ、銀幕のス

ターに恋い焦がれた時代の「もぎり譲」の懐かしい話。「キネマ旬報」誌上に連載されたものに加筆・一部改題されたものである。旅と映画館を愛する彼女ならではの素晴らしい思いの詰まった一冊である。



がらくた学級の奇跡
作=リパトリシア・ポラッコ

新 学期がはじまる日、トリシヤはわくわく学校に一年間だけ通うことになったのだ。これにはいろいろ理由があった。でも私の入ったクラスは「がらくた学級」と呼ばれている特別学級だった。クラスメイトはみんな個性のすぎた。トリシヤは悲しくてがっかりした

が、そこには「がらくたにはすばらしい可能性があるのよ!」と生徒を大切な宝物だと信じてくれた担任のピーターソン先生がいた。作者の子供のころの思い出をもとにしたもので「ありがとう、フォルカー1せんせい」には担任の先生と識字障害を乗り越えたことを描いている。あわせて読んでみて欲しい。

本は知識を深めるだけでなく、人と人とのつながりを広げてくれます。新たな本との出会いは新たな人との出会いの始まり。広がる本ならではの出会いの場として、毎月おすすめの本を2冊紹介します。今月の紹介者は金子美代子さんです。

広がる本だな

Dr. 勝木の

調子はいかが？

くらで病院 ☎42局1231番

くらで病院スタッフ
からの健康
アドバイスです



乳がんの「サブタイプ」について教えてください。(62歳・女性)

乳がんは5つのタイプに分けられます

乳がんには、比較のおとなしいものから悪性度の高いものまで性質の異なる様々なタイプがあり、再発のリスクが異なります。手術前や手術後に行われる病理検査で、がん細胞が持つたんぱく質を調べ、ホルモン受容体やHER2が陽性か陰性か、がん細胞の増殖能が高いか低いかによって、下記の表に示すように大きく5つの「サブタイプ」に分類します。

サブタイプによって異なる乳がん治療法

このタイプに基づいて、ホルモン療法や抗がん剤療法、抗HER2療法などの薬物療法を選択します。

乳がんのサブタイプ	ホルモン受容体陽性		ホルモン受容体陰性
	増殖能が低い	増殖能が高い	
HER2陰性	ルミナルA ホルモン療法のみ	ルミナルB・HER2陰性 ホルモン療法 + 抗がん剤療法	トリプル・ネガティブ 抗がん剤療法のみ
HER2陽性	ルミナルB・HER2陽性 ホルモン療法 + 抗がん剤療法 + 抗HER2療法		HER2タイプ 抗がん剤療法 + 抗HER2療法

乳がんは、がん細胞が持つたんぱく質を調べることで大きく5つのサブタイプに分けられ、このタイプに基づいて治療を行います。

ホルモン受容体（エストロゲン受容体、プロゲステロン受容体）が陽性的場合、そこに女性ホルモンが結合するとがん細胞が増殖します。ホルモン療法は、女性ホルモンの分泌や働きを妨げることによって増殖を抑える治療法です。一般にホルモン受容体陽性の乳がんはおとなしいものが多いとされていますが、Ki67という細胞増殖の程度を表す指標が高い場合には、悪性度が高くなります。

HER2とは細胞の表面にあるたんぱく質で、がん細胞の増殖に関係しています。HER2陽性の乳がんは悪性度が高いと考えられますが、抗HER2療法はその働きを妨げることによって増殖を抑える治療法です。



最終的には、年齢や月経状況、病期（ステージ）、がんの組織型（種類）、がん細胞のグレード（顔つき）、脈管侵襲（周囲の血管やリンパ管にがん細胞がみられること）等も考慮して、総合的に薬物療法を選択します。

【アドバイザー】



勝木健文さん・かつきたけふみ・平成7年産業医科大学卒業後、門司労災病院、北九州市立医療センター、山口労災病院などを経て、現在は産業医科大学病院消化器・内分泌外科に勤務。水曜午後にくらで病院乳癌外来に勤務。日本外科学会専門医、日本乳癌学会乳癌専門医、日本内分泌・甲状腺外科専門医、検診マンモグラフィ読影医。